

No.	表示名称	成分説明
1	水	基剤
2	ラウロイルメチルアラニンNa	アミノ酸のアラニンと植物から得られるラウリン酸から成る界面活性剤。適度な洗浄力と脱脂力があり、起泡性にも優れており、皮膚、毛髪に対する感触性にすぐれている。
3	ココミドプロピルベタイン	ヤシ油脂肪酸から得られる洗浄力が強く、殺菌作用、毛髪の柔軟効果がある両性界面活性剤。刺激性はほとんどなく、目に染みにくい。
4	グリセリン	ヤシ油やパーム油から得られる粘性のある保湿剤。吸湿性が強く、肌にうるおいを与えしっとり感を与える。
5	ココミドメチルMEA	ヤシ脂肪酸とヒドロキシエチルメチルアミンから得られる起泡剤。起泡性に優れたシャンプーの粘性調整剤。
6	海水	海洋深層水を脱塩して得られた流水。ミネラルを多く含むスキンケア成分。
7	ポリクオタニウム-10	プラスイオンを帯びるカチオンの性質を持つ毛髪コンディショニング成分。枝毛、切れ毛などから髪を守る。
8	クエン酸	pH調整剤
9	カンフル	クスノキの原木から得られる刺激、局所麻酔作用、かゆみ止め効果がある成分。
10	フェノキシエタノール	防腐効果のあるアルコールの一種。
11	ラベンダー油	ラベンダーの花、花茎から得る精油。鎮静効果のある香り。
12	加水分解コラーゲン	魚の鱗や皮を加水分解して得られるコラーゲンタンパク加水分解物。保水性が高く、肌荒れを防ぎ、しなやかさを維持する。
13	BG	アルコールの1種の多価アルコール。皮膚に対する刺激がなく、適度の抗菌力と肌をしっとりさせ保水性がある保湿剤。
14	アルゲエキス	海藻から得られるエキス。海藻の中のミネラル分が肌や髪にしっとり感を与える。収れん作用や細胞の再生を助ける働きにより、肌を整えて水分量を正常化に導く。
15	アロエベラ葉エキス	アロエベラの葉、または果汁を乾燥させたものから抽出して得られるエキス。保湿作用、消炎作用、皮膚の保護作用などがあり、肌荒れを防ぐ。
16	シソ葉エキス	チリメンシソやアオシソまたはその近縁植物の葉から抽出して得られるエキス。抗アレルギー作用、保湿効果、抗炎症効果がある。
17	ビワ葉エキス	ビワの葉から抽出して得られるエキス。ネロリドールやファンネソールといった精油、クエン酸やリンゴ酸などの有機酸を含む。抗炎症作用、収れん効果、抗菌効果をもち、肌荒れを防ぐ。
18	マコンブエキス	褐藻類の一種、マコンブから得られるエキス。アルギン酸、多糖類、ヨウ素や鉄を多く含み、保湿効果、代謝促進効果、血行促進作用による育毛効果がある。
19	アマモエキス	太平洋沿岸に群生するアマモから得られるエキス。メラニンを合成する酵素「チロシナーゼ」の量を抑え、メラニン合成を抑制する。
20	エタノール	植物エキスの抽出溶媒。
21	ヒバマタエキス	ヒバマタ(褐藻)から抽出して得られるエキス。保湿作用、皮膚再生作用、血行促進作用があり、肌にうるおいを与える。毛髪にはみずみずしさや艶を与える。
22	クレマチス葉エキス	クレマチスエキスの葉から得られるエキス。保湿効果、引き締め効果があり、肌のキメを整え、乾燥を防ぐ。
23	セイヨウナツユキソウ花エキス	西洋夏雪草から得られるエキス。消炎効果、収斂効果があり、肌荒れを防ぎ、キメを整える。
24	スギナエキス	スギナエキスの全草から抽出されるエキス。抗炎症効果、収斂効果があり、肌の老化を防ぎ、ハリのある肌を保つ。
25	セイヨウキズタ葉／茎エキス	セイヨウキズタの葉および茎から抽出したエキス。抗炎症効果、洗浄作用・瘦身作用があり、ニキビや炎症を抑える。

※化粧品では謳えない内容も含んでありますので、ご注意ください。